

前提

- ・セミナーみたいな一方通行のコミュニケーションはオンライン・オフラインの差があまりないのでは
- ・ワークショップやアイデアソン、ハッカソンなどインタラクティブなイベントはオンラインオフラインの差が激しい

オンラインでいいところと出た内容＝オフラインで課題だったところだったりするので、少しでも取り組めるとオフラインもいい感じになるよねという

- 服装を気にしなくていい
- 都会に物理的にコストをかけていなくていい
- 地方から来ている方の交通や宿泊のお話
- 男女それぞれの、服装のお話(可愛い服を着ると、姫っぽくなるとか...)

課題

[オンラインとオフラインの違いについての気づき]

- ハンズオンやハッカソンの開催
 - オンラインはツールを駆使しないといけない
 - オンラインは運営負荷が高い(ツール選定から当日ファシリテーションまで)
 - オンラインは話しかけるタイミングがオンラインだと分かりづらい
- インタラクションが伴うイベントはオフラインとオンラインで異なる
- 相手の目線が分かるのが望ましい
- 相手の手元、キーボードも見えると良い
- オンラインは時間の流れが早く感じる、おそらく肌で感じてた感覚などを想像しながら参加しているからかも？

[オンラインのメリット]

- オンラインのほうが参加がしやすい(好きな場所から参加できる)
- 交通費がかからない
- 宿泊費がかからない
- 当日の会場に入れない問題がないので良い
- 化粧、服装を気にしなくて良い(女性)

解決案

- VR空間を用意する
- 相手の目線がトラッキングできるVRデバイス(HoloLens)を活用する
- オフラインの課題をオンラインでは解決する